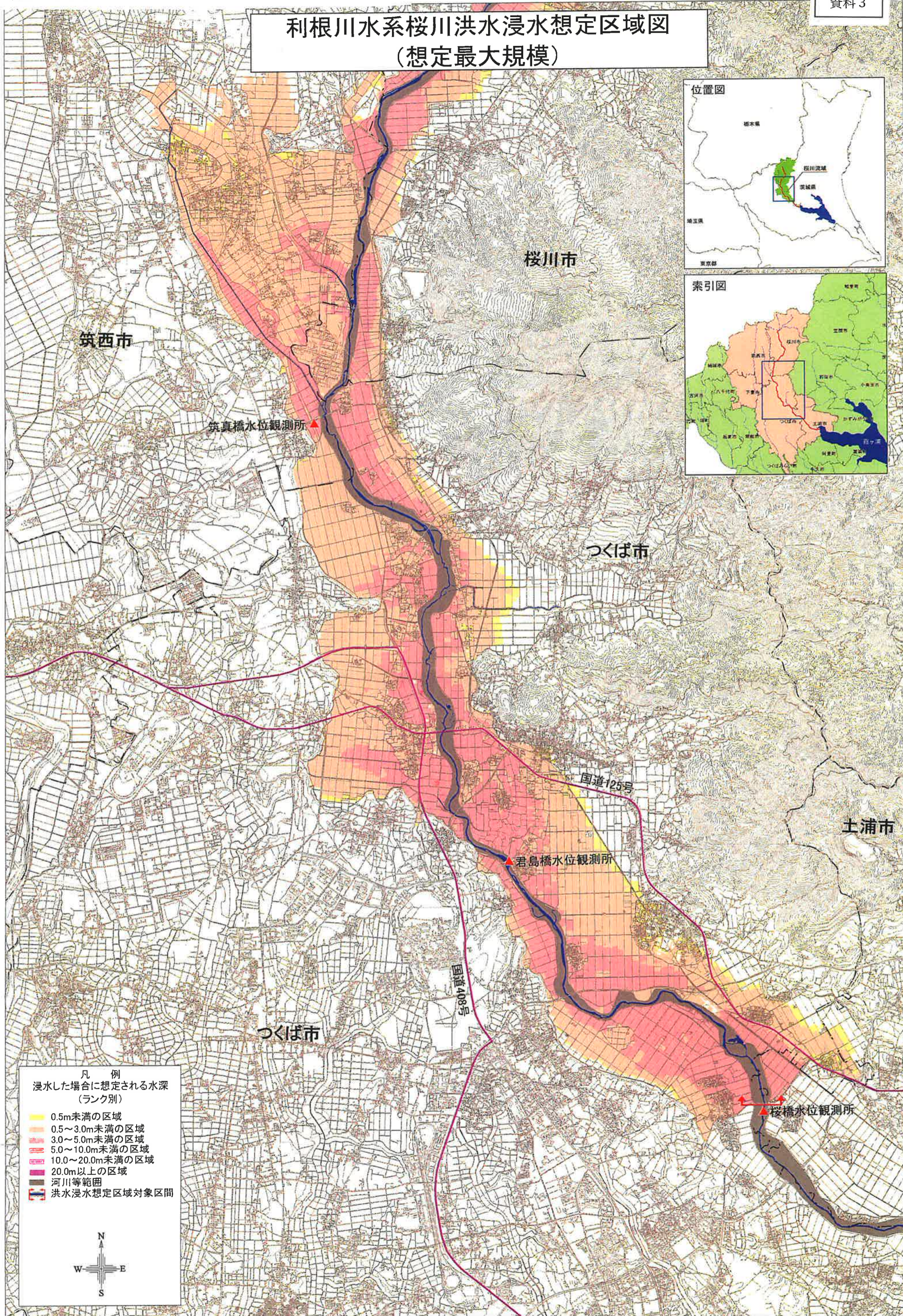


利根川水系桜川洪水浸水想定区域図 (想定最大規模)



凡 例
浸水した場合に想定される水深
(ランク別)

- 0.5m未満の区域
- 0.5~3.0m未満の区域
- 3.0~5.0m未満の区域
- 5.0~10.0m未満の区域
- 10.0~20.0m未満の区域
- 20.0m以上の区域
- 河川等範囲
- 洪水浸水想定区域対象区間

1000 0 1000 2000 3000m
1:25000

第3章 つくば市における災害

第1節 災害危険箇所

第1 水害

国直轄河川の小貝川、県管理河川の桜川は、それぞれ水防法に基づく洪水予報を行う河川に指定されており、浸水想定区域が指定されている。

小貝川浸水想定区域は、概ね 150 年に 1 回程度起こる大雨（利根川水系小貝川の流域に 3 日間総雨量 318mm 昭和 61 年 8 月相当）による外水氾濫の想定で、小貝川沿いの低地で、最大 5 m 未満の浸水が予想されている。

また桜川浸水想定区域は、概ね 50 年に 1 回程度起こる大雨（利根川水系桜川の流域に 2 日間総雨量で 246mm ピーク時の 1 時間で 51 mm）による外水氾濫の想定で、桜川沿いの低地で最大 5 m 未満の浸水が予想されている。

つくば市域では、以下のとおり小貝川、桜川に重要水防箇所の指定がなされている。

区分	国土交通省指定箇所数		茨城県指定箇所数	
重要度 A (水防上最も重要な区間)	小貝川沿い	8 箇所	桜川沿い	6 箇所
			西谷田川沿い	3 箇所
重要度 B (水防上重要な区間)	小貝川沿い	36 箇所	桜川沿い	3 箇所
			西谷田川沿い	1 箇所
うち要注意区間	小貝川沿い	8 箇所	—	
以上のうち重点区間	小貝川沿い	4 箇所	—	

(平成 29 年度茨城県水防計画)

事業名：母子保健指導に要する経費

保健部 健康増進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位：千円)	前年度 繰越額	補正予算額	流充用額	予算現額	次年度 繰越額	支出済額	執行率 (%)
04	01	03	12	本年	25,644		4,169		29,813		27,610	92.6
				前年	16,304		12,366	53	28,723	18,395	64.0	
				比較	9,340		8,197	53	1,090	9,215	-	
【参考】前々年度					10,830		2,948	3	13,775		11,170	81.1

節別支出済額(単位：千円)

報酬	6,916	職員手当等	631	報償費	536	旅費	134
需用費	1,310	役務費	418	委託料	11,626	使用料及び賃借料	40
備品購入費	398	負担金補助及び交付金	8	扶助費	1,423	償還金利子及び割引料	4,169

概要及び成果

1 母子保健指導に関する事業

妊娠期から子育て期にわたり切れ目のない支援を実施するため、母子健康手帳交付を始めとし、各種健康教室、育児相談、あかちゃん訪問事業等を実施する。また、より支援の必要な対象者に対し、養育支援訪問等を実施する。

【成果】

妊娠届出時、妊娠期、出産から子育て期の保護者及び児に対し、各種相談事業、教育事業、訪問事業を実施し、切れ目のない支援を実施した。また、新型コロナウイルス感染対策としてマタニティサロンのオンライン開催や動画配信、電話相談、資料送付等で妊婦等の支援を行った。

母子健康手帳交付状況（再交付等を含む）

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
母子健康手帳交付数	冊	2,454	2,543	2,370	2,454	2,507

利用者支援事業（母子健康包括支援センター）

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
妊娠届出時面接相談数	人	2,255	2,339	2,251	2,317	2,326
内要支援妊婦数	人	377	294	257	213	211
電話相談該当者数	人	1,342	1,106	1,255	1,357	1,149

マタニティサロン

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
妊婦編参加数	人	140	105	102	134	159
育児編参加数	人	625	506	514	823	736
マタニティ講演会参加数	人	116	68	81	117	138

あかちゃん訪問

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
訪問数	人	2,293	2,170	2,232	2,302	2,277
実施率	%	96.7	98.5	95.8	98.0	98.0

養育支援訪問

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
実施延べ数	人	960	913	1,077	578	276

産後ケア事業

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
利用実数	人	104	74	45	54	26

あかちゃんランド

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
開催数	回	31	30	31	33	36
参加数	人	274	258	277	521	571

動画配信視聴状況 R3.2月より配信

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
沐浴について	人	772	842	112	-	-
離乳食について	人	373	451	127	-	-

すこやか健康相談

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
相談延べ数	人	1,354	1,092	1,092	1,919	1,737

発達相談

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
開催数	回	88	76	84	98	82
相談延べ数	人	176	124	147	184	188

のびのび子育て教室

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
開催回数	回	48	37	32	48	48
参加実数(児)	人	39	36	35	52	56
参加延べ数(児)	人	250	226	198	316	489

出前健康講座

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
開催回数	回	33	26	21	34	26
参加数(乳幼児、学童)	人	213	211	173	456	349
参加数(保護者)	人	211	225	174	450	323

子育て応援講座 R2年度より開始。R3年度から動画配信のため視聴数

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
参加数(保護者)	人	108	69	6	-	-

ペアレントプログラム R元年度より開始

	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
コース数	回数	1	1	2	4	-
参加延べ数	人	30	36	62	163	-

(13) 市への意見

- ・高齢者福祉や介護保険制度についての必要性が生じた場合に、安心して相談ができる人材の育成が必要。
- ・80才以上は市内のバスを全て無料にしてほしい。
- ・利用者には介護サービス事業所の選択が難しい。市役所で各事業所の情報を詳しく説明してもらえるとよい。
- ・農村部の住民が孤立化しないように、交通手段や日常の相談窓口の充実が必要。
- ・コロナの拡大により、身近な交流センターや社協で体操教室などが中止となり、運動する機会がなくなった。以前のように気軽に参加できるよう再開してほしい。
- ・健康体操教室は自ら立上げねばならず、取組みが難しい。人数集め、会場の準備など市の支援が必要。
- ・高齢者でも手軽に利用でき、自家用車に乗らなくても済むような交通網を作してほしい。
- ・アンケートに回答する中でこういうものがあるのだと初めてわかった事が多々あった。もっと情報がほしい。
- ・高齢者でも安心して自転車で走れるような道路交通の整備をして欲しい。
- ・インターネットで情報を見ることができない人のための工夫が必要。
- ・高齢者の相談先がわかるチラシ等を保険証の交付時に配布してほしい。
- ・介護保険が高額すぎる。
- ・民生委員はもっと積極的に地域を巡回するようにしてほしい。
- ・免許証を返した後の移動手段が心配。つくタクや、つくバスが、もっと自由に利用できるようなものになると思う。
- ・歩いて行けるところに高齢者が集まり生きがいを持てるような場所がほしい。
- ・要介護認定を受けていない高齢者夫婦のみの世帯に、配食・ゴミ出し・買物・他の支援・サービスを希望する。

出典：「第9期つくば市高齢者福祉計画策定のためのアンケート調査報告書令和5年3月つくば市」
<https://www.city.tsukuba.lg.jp/material/files/group/45/9kihoukokusyo.pdf>